

《課題名》

画像解析による放射性肺臓炎リスクの検討

《研究対象者》

2010年1月から2017年4月までに、胸部の放射線治療を行った癌患者

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報（及び生体試料）を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

研究課題名：画像解析による放射性肺臓炎リスクの検討

研究期間：2010年1月1日～2022年3月31日

研究機関・実施責任者：滋賀医科大学 《所属》呼吸器内科 《氏名》中野恭幸

（２）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

本研究は過去に放射線治療を行った悪性疾患患者（肺癌、食道癌等）においてレトロスペクティブに背景因子、画像解析を行い、放射性肺臓炎リスクと予後について検討し、どのような因子が放射性肺臓炎の原因になるのか、特に治療計画時のCTを用いて発症との因果関係を調査することが目的である。放射線治療前に放射性肺臓炎発症リスクを予見できることを期待する。

（３）研究の方法について

《研究の方法》

対象となる放射線治療を行った患者個人の過去のカルテから、必要な背景因子

（喫煙歴、肺機能、投与薬剤）と放射性肺臓炎の有無、程度と予後を調べ、さらに放線計画データから線量分布や画像的な検討を行い、放射性肺臓炎との因果関係を探る。

（４）個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

（５）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、（2022年3月31日までに）下記（8）にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 呼吸器内科 《対応者氏名》内田泰樹

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2213

メールアドレス： uchiy@belle.shiga-med.ac.jp